

令和四年度 滋賀県立虎姫高等学校
特色選抜 小論文 問題用紙

【受検上の注意】

- 一 答えは、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- 二 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 三 字数には句読点を含むものとします。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

受 検 番 号

二〇世紀的な思考のしかたはもう限界です。世界で次々に起こる問題を解決できないのはなぜか。それは、その問題をつくってしまっただ時代の思考の枠組みと変わらない思考の枠組みで問題を解決しようとするからです。つまり、自分たちの「思考のしかた」や「その思考に基づく行動」が大きな問題をはらんでいたことに関心が向いていなかったということです。

出てきた問題に①モグラ叩きのように対処しているだけでは根本的な解決はできません。出てくるモグラを叩くのではなく、モグラが出てこないためにはどうすればいいかを考える、そういう思考の枠組みを身につける必要があります。古い世代が次の世代に「私たちはこんな枠組みで思考してきたから、君たちも同じように考えなさい」と伝えても、意味がありません。

人類の長い歴史の中で、アインシュタイン(1879-1955)を始め多くの哲学者や発明家、時代を牽引した人たちが繰り返し言ってきたことですが、古い思考の枠組みで考えても、新しい問題は解決できないのです。

実はどんな時代でも、どんな人でも、無意識のうちに、ある前提的な枠組みや色眼鏡でものを見ています。「これはこういうものだ」「これが常識だ」という思い込みや価値観を通して物事や世界を見ている。そのことをまず自覚することが大事です。とはいえ、ある価値観や認識の枠組みから全く自由になって認識したいと思っても、それはできません。人間は何らかの眼鏡をかけないと世界が見えないのです。だからこそ、前提的な枠組みや色眼鏡を一度全てチェックし直して、何が大事で何が大事じゃないかを見極めること、マインドセットを切り替えることが必要です。

(中略)

私たちの目の前に広がる世界も、仮説をもって見なければ有象無象の世界でしかなく、私たちはそこに何も見つけることができないのです。それはつまり、生まれたばかりの赤ちゃんに見えている世界と同じです。

社会や人間を対象にすると、その色眼鏡はさらに度が強いものになっているはずですが。たとえば、「数学が得意な人は頭がいい」「男と女の役割は違う」などと思いつ込んでいないでしょうか。もしそうだとしたら、そのような偏見を繰り返し社会に刷り込まれ、知らないうちに独特の(古い)色眼鏡をかけてしまっていると言えます。

(中略)

いま、全ての前提となっていて②ものの考え方や価値観を問い直すことが必要です。次の世代である若い人たちには、ぜひ、私たちの世代とは違うマインドセットを持ってほしいと願います。これが、これからの時代の大事なテーマになっていくと私は考えています。

(汐見 稔幸 『教えから学びへ』による。)

(注) 牽引

…先頭に立って引っ張ること。リードすること。

マインドセット…ものの見方。物事を判断したり行動したりする際に基準とする考え方。

有象無象

…無意味な物がごちゃごちゃと集まっている様子。

問一

傍線部①に関わって、「モグラ叩きのように対処している」とはどういうことか、三〇字以内で答えなさい。

問二

傍線部②に関わって、あなたが問い直してみたいものの考え方や価値観はどういうものか、その理由を含めて、原稿用紙の正しい使い方に従って、二六〇字以上三〇〇字以内で書きなさい。